

痕跡からシカの存在を読み取る

1 過密化するニホンジカ

全国的にニホンジカ（以下シカ）が増え、森林の世代交代が停滞したり、植生が衰退したりする要因となっています。遺跡の出土品や古文書によると、シカはかつて北東北の各地に分布しており、十七世紀に盛岡藩の殿様が現在の盛岡市内で鹿狩りをした記録もあります。その後、昭和初期までに五葉山周辺域以外ではシカは姿を消しましたが、そこから増えて三陸沿岸を北上するとともに、内陸にも広がってきました。シカはすでに北東北三県のほぼ全域で目撃されており（写真1）、各県における捕獲数も増えていきます。岩手県ではシカの被害を防ぐ防護柵を設けな

2 痕跡の活用

近年では、ドローンをはじめとした機器の発達により、観察者自身がシカに与える影響を減らしつつ、比較的広域で生息状況を把握できるようになってきました。これらの方法は、機器を設置してからのシカの行動を明らかにしてくれますが、設置前のことは分かりません。一方で、シカの痕跡は調査時点より過去のことを明らかにしてくれます。したがって、シカがどこにいたのかを把握するうえで、痕跡調査は有効な方法です。とくに生息密度が低い状況では、高価な機器を広範囲に設置するよりも、コストパフォーマンスの良い方法といえます。ただし、シカの痕跡

3 越冬地の把握

夏の間には数頭の群れで散らばっているシカたちは、積雪が深くなる頃と前後して、周囲より雪の少ない地域に移動します。シカにとって過ごしやすい場所は、雪が深くなるほど限られてくるため、多くのシカが集まって大きな群れを形成することがあります。このような場所は越冬地とよばれます。カモシカがなわばりをつくって同じ地域に一年中定着して過ごすのと対照的です。越冬地の特徴は、標高は低く主に南向きで、



写真1 田沢湖畔で目撃された越冬群

周囲より積雪が少なく、傾斜は緩いことが多いようです。また悪天候からの避難場所として、常緑のスギ壮齡林が利用されます。シカが食べる植物は、地域や季節によって異なり、またシカの摂食による植生の変化も反映するため未解明なことも多いですが、積雪期の前半は、凍結しない沢沿いやスギ林の林縁に生えているササの葉を食べることが積雪地では共通しているようです。歯形が残るササの葉の食い跡（写真2）が、数百本以上まとまって見つかることがあり、何枚かの食いちぎられた部分の周囲を綿棒で拭いてサンプルとし、識別キットで分析すると、シカであ

ることが確認できます。ササの葉の食痕は、雪解けの後、その葉が落ちるまでは越冬地の目印となります。

シカが定着して間もない秋田県田沢湖周辺域において、秋田県の機関と共同で越冬地を探す調査を行ってきました。そして県は、見つけた越冬地でシカ捕獲事業を実施するとともに、一部の越冬地では、群れごと捕獲するための試験を共同で行っています。岩手県内でシカの分布前線域にあたる奥羽山麓においても、定着して間もないうちに生息状況や越冬地の把握に痕跡の識別が活用できるのではないかと考えています。

4 林野火災跡地への再進入確認

令和7年2月26日に発災した大船渡市の林野火災は、記録的な規模の焼失面積に至ってしまいました。火災跡地の森林再生には様々な課題がありますが、ここではシカ対策に絞って考えます。五葉山の入口に位置する大船渡市は古くからシカが生息しており、火災跡地周辺はシカが高密度に生息していたことから、シカの再進入は早いであろうことが想定されました。そうであれば、再造林にはシカ防除が不可欠であることを意味します。同年4月7日の鎮火宣言から一か月後の5月7日に、ハケ森

地区の被害状況の現地調査に同行する機会を得ました。ハケ森地区は、樹冠まで燃える樹冠火に至り、焼損の最も激しい地域でした（写真3）。

丸焦げの幹だけが残るスギ林やアカマツ林の光景は衝撃的でしたが、被災地の動植物はすでに動き始めていました。幹は丸焦げながら小さな萌芽を携えたミズナラ（写真4）などの広葉樹、部分的に再生している林床植物、ところどころこれらに残る食痕、作業道のぬかるみに残された偶蹄類（シカかカモシカ）の足跡、そしてハケ森頂上付近には、おそらくシカと思われる糞が見つかりまし

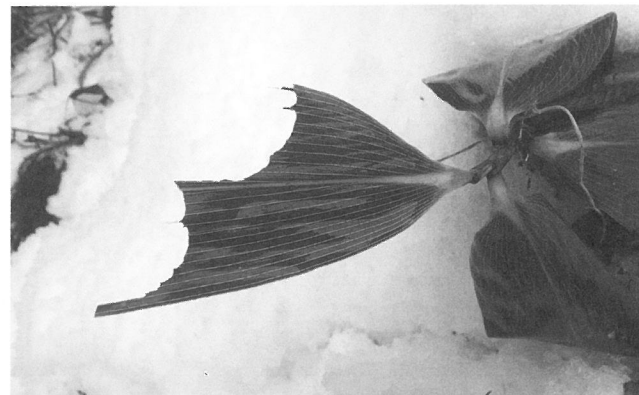


写真2 歯形が明瞭なササの葉はシカの食痕と判明



写真3 樹冠まで焼け焦げたスギ林



写真4 幹の焦げたミズナラの萌芽に食痕がみられた

5 痕跡の確実な判定

シカとカモシカが生息する地域では、生息地や餌植物の利用状況を比較した研究から、シカとカモシカでは森林に与える影響の大きさが異なることがわかっており、どちらの痕跡であるかを正しく判定することの重要性が指摘されています。識別キットを活用した痕跡判定は、正確な判定ができるので、適切な対策へとつなぐことができます。

森林総合研究所東北支所

高橋 裕史

019（641）2150